

クッチャロ湖通信

浜頓別町では、植物の芽が新しく伸びてくる季節が訪れました。4月上旬には、雪が降ることもありましたが、最近はフキノトウも数多く見られるようになり、道北にも遅い春がやってきました。クッチャロ湖の氷は、4月11日にほぼ全体的に溶けました。



フキノトウ（写真上） 給餌の時間に集まるコハクチョウたち（写真下）

コハクチョウたちの北帰行も本格的になってきました。4月19日に約14,700羽の白鳥達が、飛来しました。これから、5月上旬にかけて、生まれ故郷の北シベリアへ渡って行きます。

湖の氷が溶け始めた、4月7日にオオワシとオジロワシの大群が湖で観察されました。氷の上で休んでいたワシ類は、約700羽でした。日本で越冬しているオオワシとオジロワシの総数が、2000羽弱なので、半分近い数が渡りの途中に立ち寄ったこととなります。

カモ類もいろいろな種類が渡ってきました。水の中に潜るキンクロハジロやミコアイサ、クッチャロ湖では数の少ないオカヨシガモやアメリカヒドリなども見られるようになりました。

白鳥情報

4月19日 約14,700羽

浜頓別の自然（渡ってくる野鳥たち）その2

春は、野鳥たちの渡りのシーズンです。浜頓別町では、ゴールデンウィークの前後が、野鳥の種類が多く見られる時期です。今月も渡ってくる野鳥たちを紹介します。

浜頓別町で夏に子育てをする野鳥を夏鳥（なつどり）と言い、渡りの途中に立ち寄る野鳥を旅鳥（たびどり）と言います。春は、これらの野鳥が姿を見せてくれます。また、渡りのコースを外れて珍しい野鳥が姿を現すこともあります。このシーズンだけで約100種類の野鳥たちが浜頓別町に渡ってきます。

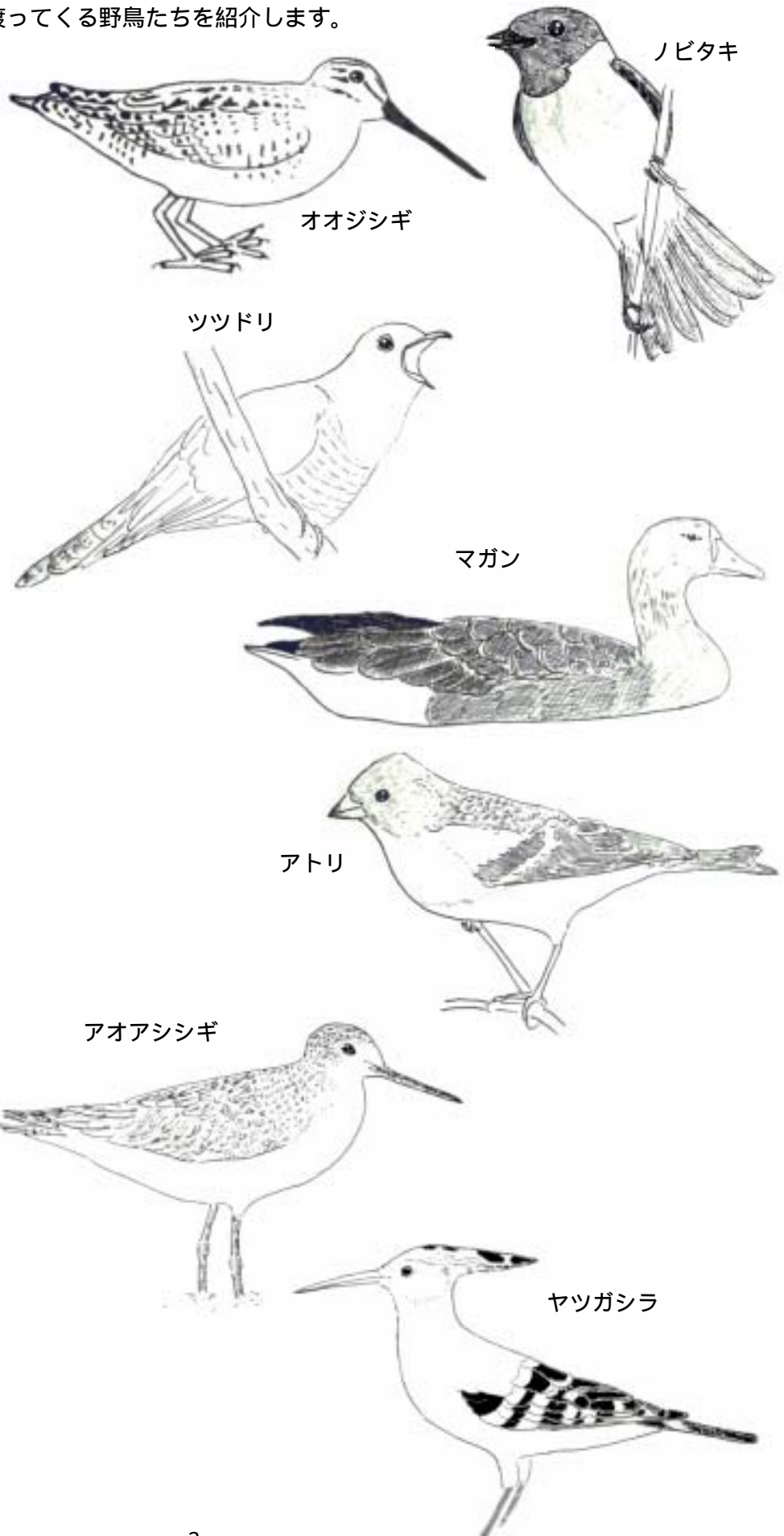
夏鳥として渡ってくる野鳥には、牧草地などで見られるオオジシギがいます。この野鳥はクチバシの長いシギの仲間、オーストラリアから渡ってきます。

また、林や草原ではノビタキやコヨシキリ、センダイムシクイ、ウグイスなどの小鳥たちのさえずりが聞こえるようになります。中～大型の野鳥では、ツツドリやモズ、ミサゴなどの姿が見られるようになります。

旅鳥では、マガンやヒシクイなどの、ガンの仲間が渡ってきています。どちらも本州で越冬している水鳥ですが、浜頓別町では、渡りの季節にしか見られません。また、これから、数は少ないもののアオアシシギやトウネン、セイタカシギなどのシギの仲間が見られるようになります。小鳥の仲間では、アトリやホオジロなども時々、姿を見せてくれます。

この他に渡りの途中に珍しい野鳥が見られる場合があります。

過去には、この時期にヤツガシラやマミジロキビタキ、ムギマキ、コホオアカ、キマユホオジロなどの野鳥が見られました。



ベニヤ原生花園の野草たち（その18）

ベニヤ原生花園では、まだ、花のシーズンを迎えていませんが、ゴールデンウィーク過ぎから、少しずつ花が見られるようになります。今月は、これから町内で見られる野草を紹介します。

エゾノリュウキンカ



エゾノリュウキンカ

浜頓別町の町の花で、春の早い季節に、沢や湿地で、黄色い花を咲かせます。葉がフキに似ているため、ヤチブキとも呼ばれます。

（開花：4月下旬～5月中旬）



アキタブキ

アキタブキ

花は「フキノトウ」、葉は「フキ」と呼ばれています。花と葉が出る時期や場所が違うため別の植物だと思われそうですが、同じ種類です。

（開花：4月中旬～5月上旬）

シリーズ自然特集

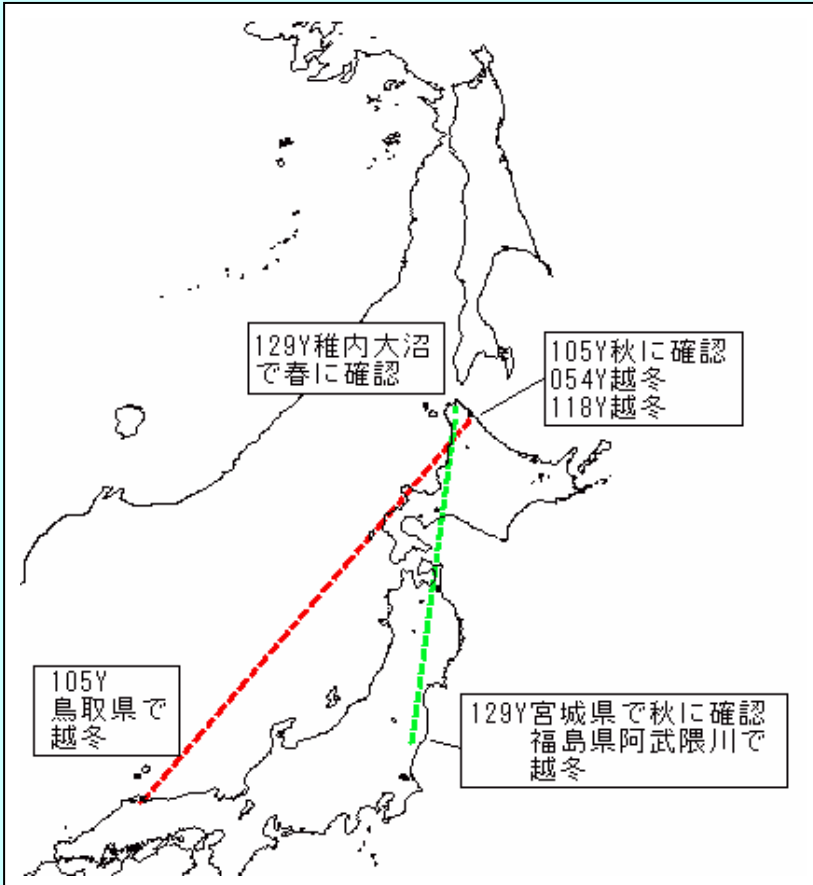
コハクチョウ（86）

今年もクッチャロ湖で、標識をつけた白鳥の情報が届きました。

2000年5月に129Yの首環をつけたコハクチョウが、福島県福島市阿武隈川で3シーズン連続で、観察されました。この白鳥は、昨年10月29日に宮城県大河原町白石川で観察され、翌日に阿武隈川に姿を現し、そのまま3月下旬まで、越冬しました。そして、4月4日に稚内大沼で観察されました。

クッチャロ湖で越冬していた標識白鳥は、118Y、054Yの2羽で、118Yは、6年連続、054Yは7年連続で越冬しました。この他に越冬地は、分かりませんが、1998年に123Yの首環をつけた白鳥（6シーズン連続飛来）や昨年4月に釣り針をつけて保護した白鳥（0729の足環をつけた白鳥）もクッチャロ湖に渡って来ました。

ちなみに今シーズン確認のとれた標識白鳥は全て独身でした。



～クッチャロ湖白鳥フェスタ2003～

今年も白鳥の飛来シーズンに合わせて「白鳥フェスタ」が開催されます。下記の日程と内容で開催しますので、多数のご参加をお待ちしております。

と き 平成15年5月4日(日) 午前10時～午後2時

ばしょ クッチャロ湖畔(クッチャロ湖水鳥観察館)

内 容

毛ガニ鍋無料サービス

毛ガニ鍋を先着250名様に無料提供します。

午前11時～ なくなりしだい終了します。

白鳥俳句コンテスト

作品募集開始：5月4日～9月30日

10月上旬に当選者発表

白鳥写真展

展示期間：4月25日～5月9日

過去の写真コンテストの入選作品の展示

白鳥解説

スタッフジャンパーを着た人達が白鳥の解説を行います。

白鳥俳句コンテストは、賞に応じた賞品を贈呈いたします。たくさんの応募をお待ちしております。なお、「白鳥初飛来クイズ」は、7月上旬から受付を行います。

お問合せ先：浜頓別町役場産業振興課内 浜頓別町観光協会 01634-2-2345

日本白鳥の会・研修会開催される！！

全国の白鳥保護や研究、観察を行っている人たちによって作られた日本白鳥の会の第27回研修会・第31回総会が、4月19～20日にかけて、浜頓別町クッチャロ湖水鳥観察館で開催されました。全国から、40名程の方々が集まり、各地の情報交換などが行われました。

4月19日(土)第27回研修会の発表内容

「最北のマガン越冬地 静内での観察記録」

北海道静内町 谷岡 隆さん

「間木堤における白鳥飛来数の推移及び環境創造へのとりくみ」

青森県下田町 松林 拓大さん

「第3回世界水フォーラムin滋賀に参加して」

滋賀県草津市 松村 勝さん

「犀川の鉛中毒の解剖結果について」

滋賀県草津市 山本 均

「クッチャロ湖の近況」

北海道浜頓別町 山内 昇さん

「白鳥紙飛行機の紹介」

北海道厚岸町 澁谷辰生さん



発行/編集：浜頓別町産業振興課(浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館)

〒098-5739 北海道枝幸郡浜頓別町クッチャロ湖畔 開館時間 9:00～17:00

TEL/FAX(01634)2-2534

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始

Eメール webmaster@mail.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp(浜頓別町)

Eメール hamaton@eolas-net.ne.jp(水鳥観察館)

ホームページ <http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/>(浜頓別町)